【原稿の種類】

MS明朝

12ポイント

MSゴシック

18ポイント

**日本評価研究の投稿について**（表題）

MS明朝

12ポイント

**評価　太郎**（著者名）

MS明朝

10ポイント

**日本評価学会**（所属先）

[journal@evaluationjp.org](mailto:journal@evaluationjp.org)（E-mail）

**要　約**

１行あける

『日本評価研究』は、会員間の研究成果交流の場を提供し、内外における評価研究の一層の発展に資することを目的とし、会員等による寄稿（以下「投稿論文等」という。）を掲載する。

投稿論文等については、それぞれ和文要旨を400字程度、英文要旨を150words程度、及び和文・英文でキーワード（5つ以内）を添付する。最大文字数20,000字以内の「研究論文」及び「実践調査報告」の場合、刷り上がり(和文要約、図表を含む本文、最終頁の英文要約を含む。)を14頁以内とする。ただし、2頁については著者負担で増頁できる。最大16頁を超えるものは認めない。最大文字数15,000字以内の「総説」及び「研究ノート」の場合、刷り上がり(和文要約、図表を含む本文、最終頁の英文要約を含む。)を12頁以内とする。ただし、2頁については著者負担で増頁できる。最大14頁を超えるものは認めない。

１行あける

**キーワード**

和文キーワード（5つ以内）

**和文要約・英文要約**→段組み設定なし

**本文等（図表、謝辞、付記、注記、参考文献含む）**→段組み設定あり1ページ20字×43行×2段

**MS明朝10ポイント（標準）**

**マージン： 上下左右30mm**

**本文の階層:**

章番号の前後、１行あける

**１．**

**(1)**

全体の頁数に影響するため、

最初に設定をお願いします。

**①**

節番号の前、１行あける。

本文は詰める

**②**

**(2)**

**(3)**

**1.　はじめに**

１行あける

１行あけずに詰める

1. **投稿論文等の体裁**

投稿論文等の体裁については以下のとおりとする。

使用言語は日本語又は英語とする。

英文原稿については、ネイティブスピーカーによる英文チェックを済ませ、完全な原稿にした上で投稿しなければならない。

投稿論文等の提出の際には、編集委員会事務局に投稿原稿の電子ファイル（図表を入れた印刷モードのPDF形式とMS word形式）を電子メールで提出する。その際、連絡先（住所、Tel、Fax、Emailアドレス）及び審査を希望するカテゴリー（①研究論文、②総説、③研究ノート、④実践・調査報告）を明記する。掲載可と判断された原稿については、最終原稿の電子ファイル（MS word形式）を提出する。図表は、オリジナルの図表を添付する。なお、最終的なデザインは編集委員会が決定する。

節番号（(1)(2)等）の前、１行あける

後はあけず、本文は詰める

日本語原稿の最大文字数は以下のとおりとする。これ以外の原稿の最大文字数については編集委員長が決定する。

1. 研究論文20,000字以内
2. 総説15,000字以内
3. 研究ノート15,000字以内
4. 実践・調査報告20,000字以内

投稿論文等については、それぞれ和文要旨を400字程度、英文要旨を150words程度、及び和文・英文でキーワード（5つ以内）を添付する。

最大文字数20,000字以内の①「研究論文」及び④「実践・調査報告」の場合、刷り上がり(和文要約、図表を含む本文、最終頁の英文要約を含む。) を14頁以内とする。ただし、2頁については著者負担で増頁できる。最大16頁を超えるものは認めない。

最大文字数15,000字以内の②「総説」及び③「研究ノート」の場合、刷り上がり(和文要約、図表を含む本文、最終頁の英文要約を含む。) を12頁以内とする。ただし、2頁については著者負担で増頁できる。最大14頁を超えるものは認めない。

英文原稿についてはA4版用紙に左右マージン30mmをとり、10ポイントのフォントを使用し、1頁43行のレイアウトとする（1頁約500words）。また、論文等の冒頭に150words程度のAbstractをつける。14頁では、7,000words相当となるが、タイトルヘッド等を考慮して、最大語数を約6,000words（図表、注、文献一覧を含む。）とする。頁数の上限については、日本語原稿の場合と同様とする。

章番号（1. 2.等）の前後、１行あける

**2． 本文、図表、注記、参考文献等の表記**

1. **論文等の記載**

論文等の記載は次の順序とする。

１行あける

**①日本語原稿の場合**

第1ページ：表題、著者名、所属先、E-mail、和文要約（400字程度）、和文キーワード（5つ以内）

第2ページ以下（1ページ20字×43行×2段で設定する）：本文（図表含む）、謝辞あるいは付記、注記、参考文献

最終ページ：英文表題、英文著者名、英文所属先、E-mail、英文要約（150words程度）、英文キーワード（5つ以内）

１行あける

**②英文原稿の場合**

第1ページ：Title; the author’s name; Affiliation; E-mail address; Abstract (150 words) ; Keywords (5 words)

節番号の前、１行あける

第2ページ以下：The main text; acknowledgement; notes; references

**(2)本文の階層**

本文の階層は以下のとおりとする。

　　　１．

　　　　（1）

　　　　　　①

　　　　（2）

(3)

**(3) 図表について**

図表については出所を明確にする。図表は原則として、執筆者提出のものを写真製版するため、不明瞭なものとならないようにする。写真は図として扱う。

**3.　内容及び形式等**

投稿の際には以下のような内容及び形式等に関する事項に留意する。

1. 論文としての基本的な体裁が整っているか。
2. 執筆要領に従っているか。
3. 簡潔明瞭に記述されているか。
4. 実証的なデータは適切に位置づけられているか。
5. 注や参考文献は本文と対応しているか。
6. 専門用語の使用は適切か。
7. 語句や文法面の誤りなどはないか。
8. 誤字脱字はないか。
9. 句読点に誤りはないか。
10. 英文の表現は適切か。

**4．校正**

印刷所に入稿した後の執筆者による校正は第一校にて校了とする。執筆者による校正の範囲は、査読による指摘への対応、誤字脱字等の修正、明らかな事実誤認の訂正に限る。校正の段階においてこれらをこえる修正を行った場合にはあらためて審査を行うとともに、直近の巻号への掲載を見送る。

**5．投稿論文の締切**

投稿論文等の締め切りは、毎年の3月末日及び9月末日とする。

**6．投稿論文等の送付先**

投稿論文等の送付先は編集委員会事務局（journal@evaluationjp.org）とする。

１行あける

**謝辞**

必要に応じて記載

１行あける

**付記**

必要に応じて記載

１行あける

**注記**

必要に応じて記載

１行あける

**参考文献**

参考文献は、日本語文献は著者の五十音順、外国語文献は著者のアルファベット順に記し、年代順に記載する。ウェブサイト情報は閲覧日を記載。詳細は以下の執筆要領を参照。

<http://evaluationjp.org/activity/journal.html>

**Information for Contributors**（英文表題）

**―The Japanese Journal of Evaluation Studies―**

Taro Hyoka（英文著者名）

Japan Evaluation Society（英文所属先）

[journal@evaluationjp.org](mailto:journal@evaluationjp.org)(E-mail)

１行あける

**Abstract**

英文要約（150words程度）-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------.

１行あける

**Keywords**

5 words

節番号の後は１行あけず、本文は詰める